

自主自立の地方自治確立に向けて

湯田市長は、市議会六月定例会初日の六月十一日、平成十六年度施政方針を説明しました。施政方針は通常三月議会で説明されるものですが、今年の二月に市長選挙が行われ、四月から六月までが暫定予算での行政運営となったため、今回は平成十六年度予算を審議する六月議会で行われました。

以下、施政方針の全文を掲載します。なお、十六年度予算は施政方針の下段で紹介いたします。

本日ここに、新津市議会六月定例会が開催されるにあたり、平成十六年度における市政運営の基本的な考え方と主な施策について申し上げます。市民の皆さん並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今世界は地域紛争や国際テロ、核の脅威、さらには人口問題や環境問題のほか、新たな感染症や食の安全への対応など、憂慮すべきさまざまな課題を抱えておりま



施政方針を述べる湯田市長

す。国内にあっても、鳥インフルエンザ、凶悪化する少年犯罪、長引く拉致問題、いまだ不透明な経済状況など、社会不安をめぐい去れない情勢であります。

一方で、野球の本場アメリカ大陸リーグをはじめ水泳競技、陸上短距離種目など、日本人選手の素晴らしい活躍は国民を沸かせ、県内においてもサッカーJリーグチームへの昇格と、昨年のスポーツ界においては、うれしい話題が続きました。

今年、八月にアテネ五輪が開催されます。ギリシャのオリンピックで採火され、「聖火で世界を一つに」を合言葉に、日本を含めた五大陸三十三都市を巡る聖火リレーが行われております。近代オリンピック発祥の地での開催となるこの「平和の祭典」の成功を強く期待するとともに、国際社会の不安を癒し、世界の恒久平和と安全、繁栄への大きな契機となることを願うものであります。

い」という基本的な考えを申し上げます。そうしたことから、地方分権の推進という大きな流れに倣し、自主・自立の地方自治の確立を図り、市民の幸せを守るため、市民の皆さんにお約束した「政令市に向けた合併」を手段としたまちづくりを傾注していかねばならないと思っております。

迎える十六年度の施政方針をお示しするにあたり、まず今年度における主要な施策についての基本的な考え方について申し上げます。

はじめに合併についてであります。当市の歴史を紐解いてみますと、明治二十二年四月、いわゆる明治の大合併以来、いくつかの合併を経て、昭和三十三年、ようやく現在の新津市の姿が形成されたものであります。明治期から現在

我が国経済は緩やかなデフレが継続しているものの、雇用情勢に持ち直しの動きや企業収益の改善、設備投資の増加など、明るい兆しもみられると報じられておりますが景気の本格的な回復には消費の停滞解消やデフレの克服が待たれるなど、今後も楽観できない状況にあります。こうした中、本年四月、国から「平成十六年度地方財政の運営について」が示されました。留意すべき事項の第一に財政運営の基本的事項を掲げ、『改革なくして成長なし』、『民間にできることは民間に』、『地方にできることは地方に』という構造改革の理念の下、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」に基づき、デフレ克服を指しながら、規制、金融、税制及び歳出の各分野にわたる構造改革を一体的かつ整合的に推進し、創造的な企業活動の促進や地方経済の活性化等を通じた民間需要主導の持続的な経済成長を目指す」と

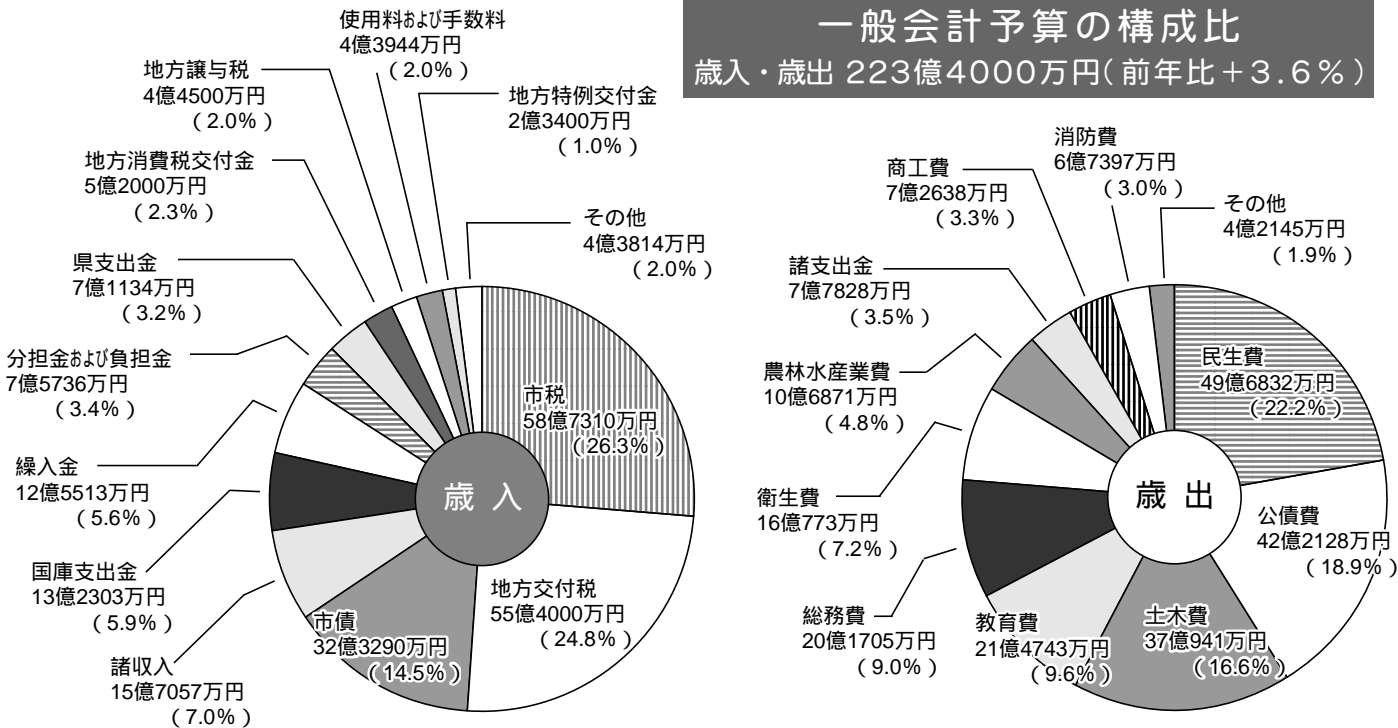
こうした市政を取り巻く厳しい情勢下ではありますが、基礎的・総合的自治体であります市町村においては、直接・間接に市民から提起されたさまざまな問題・課題に真摯に取り組み、住民福祉の向上に努めることが重要と認識しております。私は市長就任の折、「変革の時代こそ知恵が必要であること」「市政運営にあたっては、時の流れを歴史的認識にたつて大局的に見つめ、今を生きる我々は次の世代に何を残すべきか、そのために何をしなければならぬかを見定め、知恵を絞ってまいりた



政令指定都市への扉を開く

までのまちづくりの要となってきたのは石油であり、鉄道であり、そして花産業であります。こうした先人の英知と努力が、今日の新津の文化、伝統として形を成し、個性的なまちづくりの地域資源となり得ていると認識しているところであります。私は早くから行政に身を置き、市民の皆さんが暮らしやすく、そして誇りをもてる個性豊かな新津の実現が念願でありました。市長就任後も、「市民が誇りと愛着をもつ新津のまちをどのように発展させるか」、「活力あふれる魅力あるまちとするために行政は何をなすべきか」、「地方自治の主役である市民との関係はどうかあるべきか」など、そうしたことを問い続け、新津市のこれからの将来とその発展のため、「政令指定都市」という目標に向けてのまちづくりを決断いたしましたのであります。新しい時代を読み解くこと、それは容易なことではありませんし、時代の渦中にある者はややもすれば問題の本質を見逃しがちであります。そうした中であって、市民の皆さんからは勇氣ある決断をしていただきました。市長としてこんなに心強いことはありません。合併については、今議会において最終判断をいただくこととしておりますが、そうした意味で今年度は、目標とする「田園型・分権型政令指定都市」への「成長と進化」の扉を、ぜひ開いて

一般会計予算の構成比 歳入・歳出 223億4000万円(前年比+3.6%)



総額約467億円

平成16年度予算の概要

活力と魅力のある まちづくりを進めます

六月市議会で平成十六年度予算が決まりました。一般会計の予算規模は二百二十三億四千万円で、平成十五年度と比べて三・六割増となっております。特別会計などを含む予算総額では、前年度と比べて三・三割増の四百六十七億六千七百二十二万円となりました。

新年度、施政方針に基づき実施する主な事業とその予算額は、真木野ポンプ場建設に十億円、新津駅東口駅前広場整備に三億一千三百万円、下野野・中野線道路整備に一億四千六百万円、バイオリサーチパークの共同研究施設建設に一億三千六百万円、金津地区コミュニティセンター建設に一億二千万円、戸籍事務の電算化に八千八百五十五万円、消防車両の購入に八千四百二十二万円、交通安全(自転車利用環境)施設整備に五千万円、子ども安全パトロール事業に一千七百九十一万円となっております。

また水道事業会計では、満願寺浄水場の施設改良に一億四千九百万円などが予定されています。

以下、上段の市長施政方針に沿って予算の概要をご紹介します(金額は一千万円未満を四捨五入)。

いきたいものと思っております。

次に中心市街地の活性化についてであります。

これまで、申し述べてきたこととありますが、市町村合併は単に合併するといったことが目的ではなく、地方分権推進法の目的にもつたわれておりますように「国民のゆとりと豊かさが実感できる社会の実現」といったことへの手段と考えております。踏み込んで申し上げます、これまで進めてきた当市のまちづくりをステップアップさせるための手段として合併をとらえ、その準備に取り組みたいというところであります。別けても「中心市街地の活性化」は、当市のまちづくりの重要な要素であり、魅力ある交流の拠点としての整備促進が大きな課題であると認識しております。今年度は、市民が暮らしの中で「ゆとりと豊かさ」を実感できるまちを目指し、地域全体の活性化につながる「にぎわい空間」、「快適空間」の創出を図るため、商工会議所の意向も踏まえて、関係機関・団体等と真剣に討議し、今後の新津地域の発展に結びつく市街地活性化についての方向づけをより明確にしていまいりたいと思っております。

次に地域コミュニティについてであります。

市民が主役となる住民自治を

現するための地域コミュニティの体制づくりや、それを支える地域拠点の整備づくりといった取り組みが大切であるうと思っております。当市において、他の自治体からも注目されている小合地区コミュニティセンターが、活発な活動を行っておりますことにご案内のとおりであります。こうした活動の母体を市内の地区ごとに醸成していくことで、分権型の政令指定都市を支える大きな骨格が整い、それが新津地域の将来をより豊かなものにしていくと思っております。

行政と地域住民との役割分担を明確にし、自立した地方自治の確立を図るため、順次各地区の活動拠点の整備、支援に努めてまいります。今年度は金津地区のコミュニティ施設の整備に取りかかりますとともに、小合地区におけるコミュニティ組織の支援に努めてまいります。また、新関地区ほかにおいても、コミュニティ施設の早期実現に向け、順次環境を整えてまいりたいと考えております。

この四月、大学運営のあり方を抜本的に見直し、研究・教育の個性と競争力の向上を目的として国立大学が法人化されたことは、ご承知のとおりであります。全国の大学には二十六万人の研究者がいるといわれており、大学を「知の拠点」と呼ぶこともうなずけると

向けて「公から民」への移行を念頭に、保育所体制の整理・統合とあわせ、行動計画を策定したいと考えております。また、これまで新津丘陵を拠点に活動してきた森林ボランティア団体が、環境保全活動のNPO法人となり、市民を対象とする森林文化の啓発と普及に取り組みはじめたこととあります。里山が市民共有の「緑の財産」でありますことから、こうしたNPO法人をよきパートナーとして、里山の魅力の発信や利活用の普及啓発、森林ボランティア運動の拡充などに取り組みたいと思っております。今年度は、石油の里公園内の公有林管理や環境教育・里山文化の啓発に、力を発揮していただきたいと期待しているところであります。

さて、平成十六年度は新津市第三次総合開発計画の最終年度であります。当市の行政指針として定めたこの計画構想には、「緑の風薫り 笑顔ゆきかう ふれあい文化都市」を将来像に掲げ、これを



地域コミュニティの新たな拠点となった小合地区コミュニティセンター

新津地域とバイオリサーチパークへの期待や、その果たす役割には大きなものがあると認識しております。今年度は、その核施設となる共同研究施設の建設に取り組み、構想の実現に向け、さらなる一歩を踏み出したいと考えているところであります。

また、平成十四年度に開学した新潟薬科大学新津キャンパスは、今年で三年目を迎えました。薬学部の新一年生が加わり、いっそう活気が出てきたと感じているところであります。大学側によれば、薬学部の移転については平成十七年度末を目標としており、今年の夏までに現在進めている第二期工事をすべて完了させ、引き続き第三期工事に着手する予定とのことであります。今後こうした本格的な移転が進むことを踏まえ、大学と地域との「連携・交流」は、ますます重要になってくるものと思っております。そうしたことから、開かれた大学を目指す大学側と地域との橋渡しといったことにも、引き続き意を用いてまいりたいと考えております。

先般発表された内閣府の平成十五年世論調査によれば、六割の人が「今後は物質的な豊かさよりも心の豊かさに重きを置きたい」と答えたということとあります。社会の成熟に伴う心の豊かさへのニーズの高まりを表わしているも

達成するために四つのまちづくりの基本目標として、「水と緑のまち」、「明るく元気なまち」、「にぎわいと交流のまち」、そして「個性豊かな文化のまち」を定めており、その実現に努めてきたところであります。しかし、懸案事項として引き続き取り組まなければならない課題があることも承知しているところであります。特に子ども達の心身の健康に重要な食生活の大切さを身につけるための「食育」という考え方に基けば、教育施設としての学校給食共同調理場の充実が喫緊の課題と認識しております。幸い、関係各位のご協力により、建設地につきましても確保させていただきましたので、早期に施設整備を図ってまいりたいと思っております。なお、これまで推進してまいりました「PFI方式」における問題点の検証や、他の方法によることとした場合の問題・課題などについて、現在、洗い直しを行っているところであります。市民の皆さんから十分にご理解をいただける内容で、また、計画実施の段階で時間を要するよ

うな手戻りがなく、最善の手法をとりたいことから慎重を期しての洗い直し作業であり、これがまとまり次第、議員各位にご説明させていただきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。今後、市民の皆さんや議員各位のご理解とご協力をいただきながら、総合開発計画の理念を生かして、市政運営の負託を受けた市長として、知恵を絞って、全力で責任を全うしてまいりたいと思っております。そうした考えのもとで各事業の検証を行うとともに、合併という現実を視野にいれ、事業の緊急性、必要性、効果性等を考慮し、平成十六年度の当初予算編成を行ったところであります。

一般会計においては総額二百二十三億四千万円です。今年度におきましては、一時的な減税補てん償の借り換えによる歳入歳出額の増加が十一億円となっておりますので、実質的には、前年度比マイナス一・五%と、当市における極めて厳しい財政状況を反映する形となりました。

最初に水害対策についてであります。平成十五年度は、幸いにも豪雨による床上浸水はありませんでし

特別会計などの予算

Table with 4 columns: 会 計 名, 予算額, 前年度比, and rows for 老人保健特別会計, 下水道事業特別会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 水道事業会計.

市民一人当たりに使われるお金は

Table with 2 columns: 費 用 種 別, 金額 and rows for 消防費, 農林水産業費, 総務費, 土木費, 民生費, 議会費, 商工費, 衛生費, 教育費, 公債費.

Other (その他) 14,467円. Total (合計) 328,902円. Population (人口): 67,923 people, H16.3.31 current.

その他の特別会計の当初予算であります。

- 老人保健特別会計 七十億二千万円
下水道事業特別会計 五十六億七千万円
国民健康保険特別会計 四十九億九千万円
介護保険特別会計 三十八億三千八百万円
水道事業会計 二十八億四千八百七十二万二千円
となりました。

主な事業

- 真木野ポンプ場建設事業 (下水道事業特別会計) ... 10億円
ポンプ場建設に着手します。

水と緑のまち 快適で安らぎが漂うまち

宅地や商業地、道路交通網の整備などにより、まちは年々その姿を変えていきます。そのまちで市民が暮らす上での基盤整備が重要

であることは言うまでもありませんが、災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限にとどめることのできる体制を、計画的に整えるこ

ともまた、市民の生命と財産を守る行政の責務であると考えております。

た。しかし近年多発している「都市型・内水型水害」対策には油断することなく、真摯に取り組みなければならぬものと思っております。特に局地的豪雨対策が重要であると認識しているところであり、秋葉湖などに流量調整機能を付加し、丘陵地における雨水貯留機能の強化に努めるとともに、田家川など下水道雨水幹線整備に力を注いでまいりましたのも、そうした考えからであります。

今年度は、新津川と能代川が合流する地点に、県が行う河川事業と共同で、河川排水機能と雨水排水機能を有する「真木野ポンプ場」の建設に着手し、下興野ポンプ場の早期更新を目指したいと考えております。今後も水害に強い安全なまちづくりのため、河川の整備と連動した効率的で有効な内水対策を進めてまいりたいと思っております。

また、雨水の流出抑制による排水施設への負荷軽減を図るため、下水道接続により不用となった家庭浄化槽の雨水貯留施設への転用を推進してまいりました。市民一人ひとりの小さな取り組みを結集し、地域を守る大きな力に高めることで、浸水被害に強い自主自立の地域づくりにつながるものと考えてのことでありますので、引き続きご協力をお願いしてまいることとしております。

Ⓜ 今後は、交通結節点としての利便性の向上による利用促進を図るため、東口駅前広場の整備を引き続き進めるとともに、駅周辺の公共空間の活用を検討し、公共交通を生かした市街地の活性化に取り組んでまいりたいと考えております。

また、公共交通への利用転換を図る交通需要マネジメントの主要施策として、蒲ヶ沢地区での大規模な駐車場を備えた新駅設置についても引き続き研究を進めてまいります。これが実現することにより、新津以南からの自動車交通総量を抑制するとともに、花と遺跡のふるさと公園や石油の里など、里山を訪れる人の鉄道利用が促進されるものと期待しております。

次に環境についてであります。昨年策定した環境基本計画では、豊かな地球環境を未来に継承するため、地域に暮らす私たちが自覚と責任をもって実行すべき目標や具体的な取り組み、そして市民、事業者、行政の役割分担などをうたっております。とりわけ行



4車線化工事が進む東バイパス

次に防災・減災対策についてであります。

当市におきましては、火災や地震といった突発的な災害発生時において、迅速かつ正確に情報を伝達するシステムとして、コミュニケーション放送を活用しているところであり、この有効性を広くアピールするとともに、防災に関する意識の啓発や自主防災組織の充実を図り、市民が主体的に自らを、そして地域を守る体制を強化していきたいと考えております。

また、万が一河川が氾濫した場合に、市民が速やかに避難できるための備えとして、「洪水ハザードマップ」を七月に公表する予定でありますので、各家庭での防災に対する関心を高めるきっかけに努めてほしいと願うものであります。

設備面におきましては、昨年度の消防ポンプ自動車に続いて、今年度は救助工作車の更新を行いましたと思っております。また、救急

救命士の養成を積極的に進め、搬送時における応急処置の充実を目指すとともに、水防演習による内水型水害への防護技術取得や、消防団の組織活性化に努めるなど、ハード・ソフト両面の救急・救助体制整備を図ってまいりたいと考えております。

次に交通網の整備についてであります。

主要幹線道路である国道四六号東バイパスの国道四三号への接続などによって、年次的に市街地の渋滞緩和が図られてきたところではありますが、さらに主要幹線道路と高速自動車道の連携活用を図るため、スマートインターチェンジを含めた新たなインターチェンジ設置に向け、研究してみたいと考えております。また、近年は新潟方面などへの交通量の増加によって、朝夕の渋滞が市の郊外でも発生しておりますことから、引き続き四三号の早期四車線化及び四六号の白根方面への延長整備を関係機関に働きかけてまいります。

一方、市道では東西及び南北の幹線道路の充実を図るため、荻川地区と国道四六号ランプウェイとをつなぐ荻川・新津線道路改良事業を引き続き推進してまいりますとともに、今年度は結第六号市之瀬線の道路改良事業に着手いたします。



利用可能となった阿賀野川水辺プラザ公園

備を予定しており、これにより現在六十七パーセントとなっている下水道普及率をさらに高めますとともに、各家庭の水洗化を促すため、一層の啓発活動に努めたいと思っております。

新津にある里山や河川空間などの自然は、そこに暮らす私たちの心に潤いと安らぎを与えてくれます。私たちは、先人が残してくれたこの「新津の宝」を、良好な姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

里山につきましては、先に述べました環境NPO法人やボランティア等との協働による森林の保全

このほか、交通量が多く通勤・通学に利用されている道路の消雪施設や、交通安全施設の整備に努めるとともに、生活道路の改良・補修につきましても計画的に対応してまいりたいと考えております。

ところで広域化する生活圏は、私たちに多様なサービスの選択肢を与えてくれる一方で、交通量増加による渋滞や環境への影響をもたらすことが懸念されております。

広域的生活圏における地域の機能分担を図り、それらが有機的に一体となった魅力あるまちを形成するためには、それぞれの地域が持つ特性を結びつける、総合的な交通ネットワークの整備が必要であるとと考えております。長年にわたって作り上げてきた当市の交通基盤を活用した交通施策の推進に努めるとともに、新津の持つ地理的特性とポテンシャルを生かしながら自然環境との調和に配慮した整備を進めたいと思っております。

環境負荷が少なく輸送能力に優れた鉄道は、以前から当市の重要な交通手段であり、また市の発展を担う重要な地場産業の一つでもあります。市街地の中心に位置し、交通の要衝でもあるJR新津駅につきましては、昨年十二月に橋上化工事が完了し、新しい新津の玄関口として生まれ変わりました。

や里山文化の啓発に努めるとともに、訪れた人が快適に、また安全に自然と触れ合うことができるよう、里山情報の提供や活用計画づくりを進めてまいりたいと思っております。また、市民が水辺に親しむことができる空間として整備を行うっております。阿賀野川水辺プラザ整備事業につきましては、多目的広場など一部施設が四月から利用可能となり、多くの市民が訪れております。今年度は、引き続き駐車場などの整備に取り組むたいと考えております。

国道四三号のフラワーロード植栽やクリーン作戦など、ボランティアによる環境美化の取り組みは至る所で行われており、美しく良好な環境づくりを支える大きな力になっているものと思っております。こうした意識や活動が市民全体に広がり、ごみのポイ捨てなどがなくなるよう、一層の啓発に努めてまいりたいと考えております。

消防車両購入事業

：8412万円

救助工作車を購入します。

除排雪委託料

：4900万円

雪害に対応して市道の交通確保を図ります。

下興野中野線道路改良事業

：1億4600万円

JR信越線東側の南北市街地を結ぶ道路を整備します。

荻川新津線道路改良事業

：1億円

新津地区と荻川地区を結ぶ道路を整備します。

結第六号市之瀬線道路整備事業

：1000万円

荻川地区の踏切改良を行います。

東口駅前広場整備事業

：3億1300万円

用地買収のほか、広場の造成などを行います。

環境保全推進事業

：67万円

環境教育の支援や冊子の発行など、環境基本計画に基づいた事業を行います。

食品廃棄物処理システム研究事業負担金

：200万円

食品廃棄物を堆肥化する研究事業に取り組みます。

合併処理浄化槽設置整備事業

：2190万円

合併処理浄化槽の設置を補助します。

蛍光管等運搬処理事業

：150万円

クリーンセンターに搬入される蛍光管類の処理と再資源化を行います。

満願寺浄水場施設改良事業

(水道事業会計)

：2億4900万円

老朽化した浄水場の施設を年次的に改良します。

里山関連管理事業

：243万円

里山の自然生態系を保全するための管理委託を行います。

阿賀野川水辺プラザ整備事業

：3000万円

休憩施設などを整備します。

市民健診事業

：7706万円

市民健診や各種がん検診を行います。

2 明るく元気なまち 健康やかに 優しさが響き合うまち

はじめに、健康づくりの推進についてであります。

当市におきましては、市民のほぼ四人に一人が六十五歳以上の高

齢者となっております。特にこれからは、七十五歳以上の後期高齢者が多くなることから、健康寿命の延伸が優先すべき課題となっております。

高齢者の健康維持には、若い年代からの健康管理や生活習慣病予防が重要であり、同時にそれは、

自らが積極的に取り組むべきものと考えております。市といたしましては、将来にわたって介護を必要としない生活習慣や環境づくり

主な事業

市民健診事業
：7706万円
市民健診や各種がん検診を行います。

を念頭に、幅広い世代での総合的な保健事業を展開してまいります。

昨年度、市民健診における基本健診とがん検診など個別検診のデータを一元化したところでありますが、今年度も受診者のデータを整理・蓄積し、健診後の指導や健康相談などを、より効果的かつ効率的に実施してまいりたいと考えております。また「健康づくり事業」におきましては、先ごろ盛況のうちを終了した健康講演会をはじめ、中高年を対象にした健康づくり運動教室の開催など関連事業の実施により、市民の健康に対する意識を高めてまいりたいと思っております。なお市民健診では、働き盛りの年代の受診率向上を目指し、夜間や休日の健診を継続して実施するとともに、昨年度に引き続き四十歳未満の市民も対象といたします。

平成十三年度からモデル事業として新関地区で行っております「健康づくり地域活動推進事業」につきましては、世代間交流事業の開催や各町内で高齢者を対象とした「お茶の間」が立ち上がるなど、地域住民の自主的な健康づくり活動として浸透しております。このモデル地区に限らず、市内で広がりを見せている地域の「お茶の間」につきましても、地元の理解を得ながら健康相談など活動の支援を広げてまいりたいと考えて



効果的な市民健診を実施します

次に、高齢者福祉の充実についてであります。

介護保険につきましては、平成十五年三月に第二期の「高齢者保健福祉計画」を策定し、高齢者の生活実態や介護の状況、社会情勢の変化に対応した総合的な施策の方向をお示したところであります。介護保険におけるサービス利用の状況を見ますと、平成十二年度の制度開始から、年を追うごとに在宅でのサービス利用が増え、住み慣れた地域や家庭で生活しながら介護を受け、かつ家族の負担を減らしていくという、介護保険の理念が浸透しつつあると思っております。在宅サービスのうち、とりわけ利用率の高い訪問介護や通所系・短期入所といったサービスにつきましては、利用状況を考慮しながらバランスのとれた基盤整備に努めてまいりたいと考えております。

また施設サービスにつきましては、この四月に市内で三番目の特別養護老人ホーム「こぐち苑」が開所いたしました。この施設では、短期入所も含めて二百二十のベッドが個室で用意されており、昨年小須戸町に開所した「こすど蒼丘の里」の利用も含めると、施設サービスにつきましてはほぼ計画どおりに進んでいると認識しております。

これらの介護保険におけるサービス提供の充実を図るとともに、高齢者が自立した生活を送るための支援施設や、要介護状態になったり、状態が悪化したりすることを予防するための施策に取り組んでまいりたいと考えております。今年度は、独立した生活に不安のある一人暮らしや夫婦のみの高齢者などを対象に、住居を提供して各種相談や緊急時の対応を行う「生活支援ハウス」を新規に開設し、その運営を「こぐち苑」に委託してまいりたいと思っております。また、高齢者が地域社会の中で生活できるよう支援するため、昨年開始した「外出支援サービス事業」を引き続き実施するほか、高齢者が自ら健康づくりについての知識取得と実践に取り組む「高齢者の生きがいと健康づくり支援事業」や、自立した生活を維持するための「転倒骨折予防事業」などを実施してまいります。また、在宅における痴ほう性高齢者は、

機者解消のための増築と、横越町の身体障害者小規模通所授産施設「のぎくの家」の移転新築にかかると市内通所者分として、それぞれ建設費の一部を助成してまいりたいと思っております。

次に、子育て支援の充実についてであります。

他の福祉制度に先んじて、平成十年に「措置から契約へ」と制度が変わった保育事業につきましても、利用者の多様なニーズを反映した保育サービスの有無により保育園を選択する方が増えております。当市におきましても、私立保育園を選択する利用者が増加しており、これは早朝・延長保育や乳児保育といったニーズに、私立保育園が柔軟かつ迅速に対応した結果であると考えております。共働きの増加や、生活圏の広域化に伴う長距離通勤といった子育て世代

の生活環境により、特別保育などのニーズは今後も増えていくことが予想されます。仕事と子育ての両立支援など、市民生活の実態に即した多様なサービスを提供するため、「民間でできることは民間で」という方向を念頭に、市立保育所と私立保育園の役割分担による保育事業を実施してまいりたいと考えております。

宅地開発が進み、乳幼児が増えている荻川地区におきましては、本年の四月に私立の「にこにこ保育園」が開設されました。これに併せて、平成十七年四月を目標に市立荻川保育所の運営を「にこにこ保育園」にお預けし、特別保育などの充実を図るべく準備を進めてまいります。このほか、入所児童が減少している市立保育所の社会福祉法人への運営移管や、老朽化の著しい保育所の統廃合などを検討してまいります。

向けた条件をようやく整えることができたものと思っております。

今年度は、駅周辺の公有地等の活用を念頭に、東西市街地の一体化と生活者の視点に立った市街地の創出に向けて、「ゆとりと安らぎを実感できる」駅周辺エリアの「まちづくりビジョン」を描き、次年度以降の事業化に弾みをつけ

3 にぎわいと交流のまち

人が輝き活力のみなぎるまち



幅広い市民活動をサポートするボランティア支援センター

子どもの虐待につきましては、虐待の発生が懸念される家庭が年々増加しておりますことから、一次的な発生子予防に重点を置き、「新津市子ども虐待予防ネットワーク委員会」などの活動によって市民への啓発を進めるとともに、関係機関との連携による対応を行うてまいりたいと思っております。

次に、ボランティアの育成につ

今後増加することが予想されており、介護する家族の心身両面の負担軽減と高齢者本人への温かいケアを進めるため、「コミュニティホーム」事業をはじめ、徘徊予防対策や市民を対象にした講演会、情報交換などを継続して行っております。

次に、障害者福祉の充実についてであります。

身体障害者と知的障害者及び障害児の福祉サービスにつきましては、昨年度から支援費制度が始まり、一年が経過いたしました。サービス利用者や提供事業者の契約によって成り立つこの制度の開始において、障害者やそのご家族が最も心配されたことは、必要なサービス確保と利用者負担ではないかと思っております。昨年度のサービスにつきましては、従来の措置制度と同様もしくはそれ以上のものが提供されたところであります。また、利用者負担が定額負担から応能負担となったことにより、短期入所やデイサービスなどで低所得者の負担額が減少するなど、より適正な負担になったものと思っております。今後は、サービス支給量の管理やサービス利用に関する相談など、制度の普及と該当者への支援を引き続き進めてまいります。

施設整備につきましては、平成十三年度に開所した知的障害者通所授産施設「けやき福祉園」の待

いてであります。

昨年五月に開設いたしました「ボランティア支援センター」につきましては、登録団体が六十を超え、福祉関係のほか、環境や人権に関する団体からも利用していただくなど、ボランティア活動を幅広く支援する場として定着しつつあるものと思っております。地域づくりの主役はそこに住む人たちであり、主体的な住民の活動によってなされるべきものという考え方から、このセンターは、そうした地域づくりに係る自主的な活動を支える情報交流拠点の役割も担うものでなければならぬと思っております。こうした観点にたつて、今後も情報の収集・発信や人材の養成、相談業務の充実など、拠点機能の向上に努めてまいりますので、より多くの市民の皆さんから気軽に訪れていただきたいと思っております。

いたしました。閉塞した経済情勢を打開するため、新たなパイオ産業創出に活路を見出そうとした意義ある試みと受け止めております。

今年度においては、こうした地元経済界との連携に努めるとともに、パイオ研究拠点の形成を目指し、産学連携共同研究開発機能を

主な事業

共同研究施設建設事業
：1億3670万円
パイオリサーチパークでの研究開発を推進・支援するための中核的な共同研究施設を建設します。

- 健康教育・健康相談事業
：451万円
- 四十歳以上を対象に健康教育と健康相談を行います。
- 健康づくり地域活動推進事業
：34万円
- 地域での健康づくり事業を実施します。
- 生活支援ハウス運営事業
：929万円
- 独立した生活に不安のある高齢者に住居を提供し、相談などにより安心した生活を送れるよう支援します。
- コミュニティデイホーム事業
：500万円
- 高齢者への生活指導などを行います。
- 外出支援サービス事業
：329万円
- 障害のある高齢者がリフト付きタクシーを利用する費用の一部を助成します。
- 転倒骨折予防事業
：120万円
- 転倒骨折予防を中心に、要介護状態への移行を防ぐ教室を開催します。
- 知的障害児・者デイサービス支援事業
：400万円
- 知的障害児・者の自立促進を図るため、デイサービスを提供します。
- けやき福祉園増設整備事業補助金
：677万円
- けやき福祉園の定員増に伴う増築工事を助成します。
- 子育て支援センター運営事業
：2880万円
- 子育て支援センターの運営をNPO法人へ委託します。
- 市立保育所維持管理事業
：763万円
- 第二保育所の調理室改修工事などを行います。
- 放課後児童クラブ運営事業
：2023万円
- 小学校低学年の留守家庭児童を対象とした放課後児童クラブへ運営を委託します。
- ボランティア活動支援事業
：900万円
- ボランティア支援センターの管理運営を委託します。

備えた共同研究施設の建設に着手いたしました。これにより、多大な整備費用を必要とする研究施設の設置や分析機器の保有が困難な中小零細企業であっても、大学等の研究者の技術協力を受けながら、人材育成や研究開発に取り組みることが可能となったり、共同研究開発に参加することによる投資経費の節減が見込まれるなど、地元産業振興に大いに貢献できるものと考えております。

また、新潟薬科大学新津キャンパスには、現在、七百人余りの学生・教職員がおり、薬学部が移転完了時には一千五百人程度になるものと見込まれております。仄聞するところによれば、大学開学・移転による地元への有形無形の経済的効果が現れてきたとされており、一層の活気を期待しているところでもあります。一方、学生の居住需要が満たされないなど、地元の努力が必要な問題・課題も見られるようになってきたと見ているところでもあります。そのため、今年度も、大学と関係機関・団体等の連携に一層努めてまいります

とともに、パイオ技術への理解や薬科大学と市民のより良い関係づくりを目的として、広報等を通じて大学情報の提供や「地域交流講座」の開設に引き続き取り組んでまいりたいと思っております。

依然として、中小工商业者がおかれた状況は厳しいものと認識し



大学と地域を結ぶ「地域交流講座」

ております。そうしたことから、昨年度、事業者の経済的基盤を維持し経営の安定に資するため、「経営安定資金」の充実に意を用い、貸付限度額の大幅引き上げと貸付期間の延長など、制度の拡充と負担軽減を図り、中小事業者の経営の支援に努めたところであります。今年度も同様に継続してまいりますとともに、その周知にも配慮していきたいと思っております。また、新規雇用者の就業機会創出を図る目的で国が支援する緊急雇用事業についても、引き続き取り組むこととし、今年度は五事業を対象予定しているところでもあります。

次に農業についてであります。国においては、平成十一年度に「食料・農業・農村基本法」に基づく基本計画を策定し、現在、農政の抜本的改革を踏まえた基本計画の見直し作業を進めております。これに先立ち、平成十六年度

から受発信できるよう、市のホームページの内容と情報提供方法をリニューアルしたところであります

から「米政策改革」が実施されましたことは、ご承知のとおりであります。この米政策の大転換は、「官から民へ、国から地方へ」という考えの下、米を取り巻く環境変化に対応し、生産者がつくる喜びを感じながら安定した生産を行うとともに、同時に消費者が求める米を望まれる価格で供給する「米づくりのあるべき姿」を実現するため、米の生産から流通までの体制を根本から変えるというものであります。こうした新たな政策への対応として「米づくりのあるべき姿」を目指した地域の創意工夫が求められておりますことから、今年度においては、国の制度との調整を図りながら新たな視点で助成制度について、農協等関係団体及び関係機関と連携を図りながら検討し、地域の特性に応じた安定した水田農業を確立していきたいと考えております。

大きな変革期を迎えた今こそ、農業者の皆さんからも、農業の発展に目を向け、知恵と意欲をもった積極的な取り組みを期待するものであります。市といたしましては、ほ場や農道などの基盤整備に引き続き取り組むとともに、環境に配慮した農業農村整備事業を展開するための「農村環境計画」の策定に取りかかります。

次に地域コミュニティについてであります。

地方分権時代を迎え、地域のことは地域の個性を尊重し、地域住民とともに考え進めていくことが求められております。市民が暮らしの中で「ゆとりと豊かさ」を実感できるまちを目指す上で大切なことは、地域を最もよく知る住民自らが地域の課題や問題に向き合い、「地域でできることは地域で完結する」という自主自立の取り組みではないかと考えております。先に申し述べましたとおり、荻川地区や小合地区では活発な活動を行っており、さらに地域コミュニティ活動が全市域で活発化するよう、今年度も一層の支援に努めてまいりますとともに、金津地区のコミュニティ活動の活性化のため、「金津地区コミュニティセンター」の建設に着手いたします。また、自治会等が建設する集会所につきましても、引き続き助成を行ってまいりたいと考えております。市民の皆さんの自主自立のコミュニティ活動の活発化を期待しているところでもあります。

次に情報化社会への対応についてであります。

情報技術の進歩に伴い、行政サービスの上や市民との協働のためのコミュニケーション手段としての情報技術の活用が求められており、即時性のある生きた情報提供手段の一つである市のホームページの担う役割も重要になってま

てまいります。ービスの向上を目的とした「戸籍事務の電算化」に取り組みたいと考えております。

◀ 主な事業

- 「総合学習」支援事業 …… 914万円
- 児童・生徒が自ら考え、実践する総合学習を支援します。
- 小中学校音楽教育等振興事業 …… 1380万円
- 音楽を通じて児童・生徒の情操を高めるため、備品などの整備を行います。
- レッツスタディ・イングリッシュ・サポート事業 …… 3183万円
- 外国語指導助手を増員して、小・中学校へ派遣します。
- 「心の教室相談員」配置事業 …… 249万円
- 生徒の悩みなどに対応する相談員を中学校に派遣します。
- 子ども安全パトロール事業 …… 1791万円
- 児童・生徒などを犯罪から守るためにパトロール業務を委託します。

4 個性豊かな文化のまち

豊かな人間味と文化の薫るまち

はじめに、学校教育の充実についてであります。

次代を担う子ども達の自ら学び自ら考える力を育成し、生きる力を育むことに努めてまいりたいと考えております。そのため、今年度も「総合学習支援事業」に引き続き取り組んでまいります。「有機資源のリサイクル」や、「鮭のふ化・飼育・放流体験を通じた川の生き物」、「里山の仕組み・歴史・文化」などを題材とした特色あるテーマについて各学校から選択していただきましたので、「児童生徒が自ら学び、自ら考え判断し、問題を解決する資質や能力を育てる」という総合学習のねらいを効果的に達成できますよう、その実施支援に努めてまいります。また、豊かな創造性と情操の涵養、心身ともに調和のとれた潤いのある人間形成の一助とするため、小学校高学年児童を対象に芸術鑑賞事業を実施するとともに、「自ら調べを奏でる素晴らしさを学ぶ」音楽教育の一層の実践を図るため、市内全小中学校に楽器等の音楽備品を配置したいと思っております。



子どもたちの安全を守ります

近年、日本に滞在する外国人が年々増加し、国際化が身近なものとなってきました。日本人としての誇りを持ち、英語を駆使して世界を舞台に活躍できる人材育成は重要なことであり、義務教育課程の早い段階から生きた英語を学べる学習環境を提供していくことが大切であると考えております。そうしたことから、今年度においても、外国語指導者を継続して配置してまいりますとともに、日頃の英語学習の成果を劇やスピーチなど、自由な発想で発表する機会を提供する「エンジョイ・イングリッシュ・デイ学習発表事業」に取り組み、児童生徒が楽しく英語に親しみ、身につけられるよう努

めてまいります。また、情報化社会への対応や理科離れといった課題についても、支援してまいりたいと考えております。

一方で物や情報が氾濫し複雑化した社会環境は、必要以上に子ども達の心に負担を与え、悩みやストレスを訴える児童生徒がいることも事実であります。そうした子ども達の心の悩みを受け止めるため、「心の教室相談員」を継続して配置するとともに、子ども達が犯罪に巻き込まれることを未然に防ぐため、「子ども安全パトロール事業」についても継続するなど、生徒児童の健全育成、安心安全な環境づくりに鋭意努めてまいりたいと思っております。

次に、教育施設の整備についてであります。

学校施設につきましては、順次計画的な施設更新に努めてきたところでありますが、昨今の住宅開発や少子化などにより、児童生徒の地域的な偏在も見受けられるところであり、本年三月、「小・中学校通学区域等審議会」から通学区域についてのご提言をいただいた

たことから、今後、地域説明会の実施や広報等により提言内容をお知らせし、市民の皆さんのご意見やお考えをお聞きしたいと考えております。お寄せいただいたご意見を十分踏まえ、年度内に通学区域の見直しを行いたいと考えております。こうした通学区域の設定にあわせ、順次計画的な学校施設の更新整備を図ってまいりたいと考えております。

次に地域文化の振興についてであります。

この三月に「新津の文化財（改訂版）」を刊行いたしました。市内で最初に天然記念物として県指定を受けました「八珍柿原木」や昨年一月に国登録文化財となりました吉田東伍、吉田千秋ゆかりの「吉田家住宅」など、市内の文化財六十点余りを紹介してあります。文化財が身近なものであることを感じていただき、市民一人ひとりが自分にとっての文化財、宝物を見つけていただくきっかけになればと思っております。

また、史跡としての国指定を目指して準備を進めてまいりました

経営安定資金貸付金

…… 2億円

市内事業者の経営安定を図るため、資金の貸し付けを行います。

…… 4835万円

県営ほ場整備事業

…… 6300万円

生産調整関連事業

…… 400万円

生産調整の実施に関して、達成奨励補助金や経営確立助成特別補助金などを交付します。

農村環境計画策定事業

…… 400万円

農村農業整備事業における環境保全の基本方針を策定します。

金津地区コミュニティセンター建設事業 …… 1億2000万円

金津地区にコミュニティセンターを建設します。

集会所建設費助成事業

…… 500万円

自治会などが建設する集会所の建設費用の一部を補助します。

戸籍事務電算化事業

…… 855万円

窓口業務を迅速化するため戸籍事務のコンピュータ化を行います。

八幡山遺跡につきましては、今年度、国への申請手続きを行う予定で、指定後の遺跡の保存活用に向けて「整備基本計画」を策定するための予算を計上したところであります。地域の歴史を実感できるようなものを目指していきたいと考えております。

市民の「知識の館」であります図書館につきましては、これまで年次計画的に改修整備を行ってきたところでありますが、今年度においても外壁及び館内設備等の整備を行い、施設利用上の課題点を改善し、今後も多くの市民の皆さんからご利用をいただきたいと思っております。なお、地域の歴史的な資料が図書館をはじめ市内各所にありますことから、今年度において、そうした歴史的資料のデジタルデータベース化に引き続き取り組み、新津の地域文化の保存と活用を努めたいと思っております。

次に生涯学習についてであります。これまで、地域の自然、歴史、文化など身近なテーマを生涯学習の柱に据え、市民の皆さんの「学ぶ意欲」に配慮するため、市民大学をはじめとした学習の場の提供や支援に努めてまいりました。どの地域にもかけがえのない豊かな自然や歴史、文化があり、そうした地域の個性を知ることによって

する誇りと愛着が育まれていくものと考えてのことです。また、人類の歴史をたどってみると、人は自然と共生しながら多くのことを学び、今日の文明を築いてきたというひとつの事実が浮かんでまいります。そうしたことを踏まえ、今年度においては環境NPO法人と連携し、市民の原風景とも言える新津丘陵の自然から自ら学ぶという「里山文化啓発事業」に、取り組みたいと思っております。

平成九年に開館した美術館では、美術の枠にこだわらず音楽や文芸など幅広い活動をとおして、総合芸術文化空間の創出に努めてきたところであります。今年度は、国立美術館巡回展「近代日本洋画の名作展」や「エコール・ド・パリ夢と哀愁展」、著名な絵本作家や漫画家の原画展などを予定しております。今後も、子どもから大人まで身近な優れた芸術・文化に



多彩なイベントを行う美術館

触れていただける交流と情報の発信拠点としての充実に、努めてまいりたいと考えております。

次に男女共同参画社会の推進についてであります。

昨年四月、内閣府男女共同参画会議から男女格差を積極的に改善する「女性のチャレンジ支援策」が提言されました。この中には、『二〇二〇年までに指導的地位に占める女性の割合が三十三パーセント程度になるように』という数値目標が設定され、意欲と能力のある女性が政策・方針決定過程に参画し、活躍できるよう、「積極的な改善措置」を推進することが盛り込まれました。こうした男女共同参画社会の推進に向けた国の施策が進められる中、当市では公的な各種審議会における女性委員の登用に努めたことにより、数値目標を上回っており、数値目標として、女性の視点をまちづくり施策に反映させるための「女性懇話会」開催事業や市民大学「女・男いきいき講座」、「にいつ女性セミナー」などの啓発セミナーを継続的に実施し、女性の社会的な参画促進に努めてきたところであります。しかし、これは大きな課題であり、一昨一昨に目に見える変化があらわれるものではないものと認識しているところであります。「継続は力なり」と言われま



欲張らず、自分にできることから

すように、粘り強く着実に取り組むを続けることが肝要なことであると思っております。今年度においても、引き続き人権啓発事業との共催による講演会や、市民との協働による各種啓発セミナーの実施など、男女共同参画社会の推進に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えているところであります。

以上、平成十六年度の市政運営についての所信の一端を申し述べましたが、私は先に行われた任期半ばの辞職に伴う市長選において「政令指定都市の実現」を掲げ、市民各位から温かいご理解とご支援を賜りました。ここに改めて厚くお礼申し上げますとともに、新しい時代のまちづくりの目標に向けて最大限努力していきますことをお誓い申し上げます、私の施政方針といたします。

- 小学校維持修繕工事 …… 982万円
- 結小学校と阿賀小学校の改修工事などを行います。
- 八幡山遺跡整備基本構想策定事業 …… 451万円
- 八幡山遺跡の保存活用のための計画を策定します。
- 図書館大規模修繕事業 …… 4113万円
- 図書館の外壁改修などを行います。
- 生涯学習推進事業 …… 406万円
- 市民大学や新潟大学公開講座を開催します。
- 里山文化啓発事業 …… 288万円
- 里山に関する情報発信と体験イベントなどを行います。
- 国際ユースサッカー大会負担金 …… 140万円
- 国内外の強豪ユースチームによるサッカー大会を開催します。
- 女性政策推進事業 …… 168万円
- 男女共同参画社会実現に向けて、啓発のための講演会などを開催します。